

令和5年人口動態統計(概数)の概要
(山形県分)

1 主な調査結果

(1) 実数

	山形県			(参考) 全国		
	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減
出生	5,151	5,674	△ 523	727,277	770,759	△ 43,482
死亡	16,974	16,883	91	1,575,936	1,569,050	6,886
自然増減	△ 11,823	△ 11,209	△ 614	△ 848,659	△ 798,291	△ 50,368
婚姻(組)	2,971	3,184	△ 213	474,717	504,930	△ 30,213
離婚(組)	1,223	1,197	26	183,808	179,099	4,709

(2) 率(人口千対)

	山形県			(参考) 全国		
	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減
出生	5.1 (42位)	5.5 (41位)	△ 0.4	6.0	6.3	△ 0.3
死亡	16.7 (5位)	16.3 (5位)	0.4	13.0	12.9	0.1
自然増減	△ 11.6 (43位)	△ 10.9 (43位)	△ 0.7	△ 7.0	△ 6.5	△ 0.5
婚姻	2.9 (44位)	3.1 (44位)	△ 0.2	3.9	4.1	△ 0.2
離婚	1.20 (45位)	1.16 (42位)	0.04	1.52	1.47	0.05

※ () 内は全国順位。以下同じ。

(3) 合計特殊出生率

	山形県			(参考) 全国		
	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減
合計特殊出生率	1.22 (33位)	1.32 (29位)	△ 0.10	1.20	1.26	△ 0.06

※ 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数に相当する。

○人口動態統計について

厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で集計・公表している国の基幹統計。

- ・対象期間 令和5年1月1日～令和5年12月31日
- ・対象客体 令和5年に日本において発生した日本人の事象

2 主な内容

(1) 出生

出生数は、県では減少した。

出生率(人口千対)は、全国6.0(前年比△0.3)、県5.1(前年比△0.4)であった。

合計特殊出生率は、全国1.20(前年比△0.06)、県1.22(前年比△0.10)となり、県が全国を0.02上回った。

(2) 死亡

死亡数は、県では増加した。

県における死因の上位3位は、悪性新生物、老衰、心疾患となり、老衰が心疾患を上回った。

死亡率(人口千対)は全国13.0(前年比+0.1)、県16.7(前年比+0.4)であった。

自殺による死亡数は、県では156人(前年比△28人)となった。

死因別死亡数・死亡率

順位	死因名	死亡数(人)				死亡率(人口10万対)		
		令和5年	構成比	令和4年	増減	令和5年	令和4年	全国 令和5年
1	悪性新生物	3,734	22.0%	3,941	△ 207	366.8 (11位)	381.5 (8位)	315.6
2	老 衰	2,680	15.8%	2,453	227	263.3 (1位)	237.5 (1位)	156.7
3	心 疾 患	2,613	15.4%	2,623	△ 10	256.7 (6位)	253.9 (7位)	190.7
	小 計	9,027	53.2%	9,017	10	-	-	-
	自 殺	156	0.9%	184	△ 28	15.3 (40位)	17.8 (21位)	17.3

(3) 自然増減

出生と死亡の差である自然増減数は、県ではマイナスとなった。

自然増減率(人口千対)は、全国 △7.0(前年比△0.5)、県△11.6(前年比△0.7)であった。

(4) 婚姻

婚姻件数は、県では減少した。

婚姻率(人口千対)は、全国3.9(前年比△0.2)、県2.9(前年比△0.2)であった。

平均初婚年齢

山形県				全 国			
令和5年		令和4年		令和5年		令和4年	
夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
31.0	29.5	30.4	29.1	31.1	29.7	31.1	29.7

(5) 離婚

離婚件数は、県では増加した。

離婚率(人口千対)は、全国1.52(前年比+0.05)、県1.2(前年比+0.04)であった。